

リ・シャオメイ准教授 / 広島女学院大学
Associate Professor Li Xiaomei / Hiroshimajogakuin University

<外国人研究者プロフィール / Profile>

国籍: Nationality:	中国 China
日本留学時の滞在期間: Period of Stay During in Japan:	1999年4月 ~ 2004年3月 April, 1999 ~ March, 2004
日本留学時の大学: Education Background in Japan:	広島女学院大学 Hiroshimajogakuin University
専攻分野: Major Field:	日本古典文学 Classic Literature of Japan
現在の所属/職位: Present Institution/Status:	同済大学外国語学院 / 准教授 Tongji University / Associate Professor



リ・シャオメイ准教授
Associate Professor Li Xiaomei

<研究報告 / Follow-up Research Fellowship>

受入研究者氏名: Research Adviser:	森 斌 教授 Professor Akira Mori
受入れ期間: Researching Period:	2010年10月1日 ~ 2010年12月29日 October 1, 2010 ~ December 29, 2010
研究課題: Theme of Research:	万葉歌人・山上憶良研究 A Study of Yamanoue no Okura

■研究概要 / Outline of Research

- a. 山上憶良の作品(計78首和歌)を集め、注釈書に基づいてそれぞれを解釈する。
- b. 山上憶良の子どもを詠んだ歌の特徴を注釈書に基づいて考える。
- c. 挽歌「男子名は古日に恋ふる歌」を研究する。
 - ①「男子名は古日に恋ふる歌」の特徴
 - ②憶良が「男子名は古日に恋ふる歌」を創る源泉を考える
 - ③漢魏六朝唐時代の詩文における子どもの登場
 - ④防人歌における子どもの登場



受入研究者森あきら先生と一緒に

■研究成果 / Result of Research

論文「山上憶良と「子」——挽歌「男子名は古日に恋ふる歌」を中心にして」を作成し、憶良の創造の源泉は中国漢魏六朝唐時代の詩文にあることを論証した。本研究は、平成23年広島女学院大学「日本語日本文学」論文雑誌に記載することが認められている。

■日本留学の思い出 / Memories of Studying in Japan

4年ぶり広島の秋を迎えました。宮島のもみじが美しく有名だが、母校広島女学院大学の所在地牛田山の紅葉が一層懐かしく思いました。先生方がとても親切で、丁寧に物事を説明して下さるし、後輩たちが明るくて可愛いです。ヒノハラホールの学食が清潔で、献立が栄養のバランスがよく、美味しかったです。快適な図書館で資料などを調べると、一日があっという間に過ぎてしまい、時間が非常に早く感じました。キリスト教の時間に多くの方のお話を聞くことができ、いろいろと考えさせていただきました。

大学院生の研究発表会でそれぞれの発表内容から資料の使用まで、学問を追求する、真剣な学ぶ姿勢が印象的でした。。。その中で、61回目の「あやめ祭」に出て、各大学の学生の演技を觀賞させていただきました。。。たいへん有意義な時間を過ごさせていただき、心より感謝いたします。



もとの指導教官藤河家先生と御一緒に



大学の図書館にいる